

クローバー通信

交流会の報告

9月4日(水)に開かれた第7回クローバー交流会では、精神神経科 北原亜加利先生と、微生物学 野中里佐先生からお話をいただきました。北原先生からは、出産と同時に卒業試験、国家試験を乗り越えた術や、研修2年目で次男を出産し、時間をやりくりしながら診療に携わる日常をお話いただきました。まだ医師としては駆け出しでもさすが主婦！やりくり上手で将来も見据えて仕事に取り組んでいることに驚かされました。野中先生からは、夫は愛媛県、ご本人は子どもと一緒に壬生という環境の中、研究者として論文を書かなければならないというプレッシャーを日々受けながら家事もこなしている実状や、前任地である愛媛大学の院内保育園の様子などを具体的に伺うことができました。基礎系研究室の現状を垣間見ることはとても興味深かったです。



女性医師であっても、女性研究者であっても、共通の悩みを共有できる場になるクローバー交流会の役割は大きいと改めて感じました。

今回は、精神神経科病棟の看護師さんや秘書さん、基礎の先生方も参加してくださり、これまでとは違った雰囲気の交流会を持つことができました。異なる職種の方々に参加いただくことは、病院のみならず大学全体の就労環境をより良くするために大変意味のある事だと思います。一人では難しいことも、連携すれば簡単にできるかもしれない…。これからも、もっと沢山の方に参加いただければと願っております。今回、ご参加いただいた皆様、どうもありがとうございました。

(女性医師支援センター 坪井弥生)

講演シンポジウムのお知らせ

「医師」として働くということ ～キャリアデザインの描き方～

9月28日(土) 関湊記念ホール

14:30～ 基調講演 栃木県医師確保支援センター 渡辺 晃紀 先生

15:30～ シンポジウム

17:45～ 懇親会「イル・チェラーソ」

育児グッズリサイクルのお知らせ

センターでは、育児グッズ(調乳セット、ベビーベッド、だっこひも等)をあげたい人とほしい人を橋渡しするリサイクル活動(全獨協学園関係者対象)を行うことになりました。詳しい内容が決まり次第広報したいと考えております。ご自宅に眠っている育児グッズ等がございましたら、ご協力をお願いいたします。